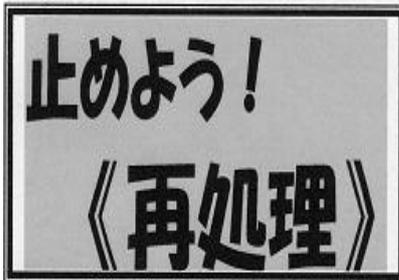


三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) **三陸の海・岩手の会**
郵便振替 02240-5-102650
ホームページ 《再処理 / 岩手の環境》
<http://sanriku.my.coocan.jp/>
《本紙の全バックナンバー掲載》



《**天恵の海**》
2021(令和 3年)
7月 25日
第 221号
編集事務局 S.Oshida
TEL・FAX 019-623-1636

福島原発事故汚染水海洋投棄 岩手の各界から 反対の陳情や意見書



菅義偉内閣は四月一三日、東電福島第一原発事故で発生した敷地内タンク貯留の放射能汚染水を海洋投棄すると決定しました。これに対し岸宏全漁連会長は「漁業関係者との約束を覆した決定に抗議する。海洋放出反対の立場はいささかも変わらない」との声明を発表しました。また野党の立憲民主党枝野幸男代表や共産党志位和夫委員長が「断固反対」を明らかにし、国民的な反対運動が立ち上がろうとしています。岩手県議会や、宮古市、久慈市、陸前高田市など市町村議会においても、決定撤回や安全な処理・保管について「意見書」の採択が行われています。堅牢な巨大貯水タンク建設など海洋投棄を急がなくても対処の方法が多様にあるのに、危険な方法を選ぶとする政府方針を絶対に撤回させましょう。

JF全漁連会長声明 (要旨)

全漁連の海洋放出反対の立場はいささかも変わらない。内閣の放出方針決定に断固抗議する。国は関係者の理解なしのALPS処理水の海洋放出を行わないと回答していた。何故関係する漁業者の理解を得ることなくこの回答を覆したのか、福島県のみならず全国の漁業者の思いを踏みにじる行為である。次の事項への対応を求める。

- 1、漁業者・国民への説明。
- 2、風評被害への対応
- 3、ALPS処理水の安全性担保
- 4、漁業者の経営継続
- 5、継続保管等の継続的検討。

四月一三日
全国漁業組合連合会
会長 岸 宏

岩手県議会議会へ 二〇市民団体が請願書提出

海洋放出に反対する岩手県内の市民団体は六月二十八日、岩手県議会へ請願書を提出し政府への意見書の提出を求めました。請願は総務委員会へ付託され六月議会で継続審議となりました。

岩手県議会は四月一五日に全国に先駆けて海洋放出について「十分な説明と慎重な対応を求める意見書」を採択し送付していましたが、今回の請願は「海洋放出政府案の撤回」を求める内容です。
(*要約・小見出しは当会編集部によります)

菅内閣は福島第一原発事故で発生したALPS処理水を福島県沖へ海洋放出する「多核種除去設備等処理水の処分に関する基本方針」を正式に決定しました。

菅内閣は福島第一原発を懸念するすべての国民の声を踏まえ、地上保管を継続し、トリチウムをはじめとする放射性物質の除去に国内外の英知を結集し安全な処理方法を確立するよう強く求めるものです。

重ねて被害を押しつけるもの
海洋資源を生活の糧とする漁業者などが反対するも、福島復興を口実にしたこの決定は、福島県民に重ねて被害を押しつけるものであり、絶対に許されません。私たちは、海洋放出の基本方針をただちに撤回し、本県も含む全国の漁業者や風評被害

割は浄化不十分
風評被害や海洋汚染を生じさせないためにはALPS処理水の海洋放出は撤回する以外にありません。タンク内の汚染水の約七割は浄化が不十分で、トリチウム以外の放射性物質も排出基準を超えていることが指摘されています。汚染水が発生し続け、

放射線物質を含む処理水の放出が続くことは風評被害がどこまでも続くことと懸念されま
す。「分離技術に注視していく」としてはいますが、
確実なトリチウム分離技術への支援を行うべきです。

二四ヶ国の三二一団体が反対表明

韓国や中国の両政府からの懸念をはじめ、韓国・英国・フランスなど世界二四ヶ国の三二一団体が海洋放出反対の意思を表明したと報じられています。政府は、国内外の世論に真摯に向き合うべきです。

廃炉と汚染水の安全は両立できる

菅内閣は、事故原発廃炉の用途を一切示していません。東京電力は、燃料デブリの一時保管場所などの建設のためにタンクの増設は困難であるとしています。敷地内にはスペースがあり、地上保管タンクを増設してALPS処理水の保管を継続することは可能です。

三陸の海を擁する岩手県民の声

ALPS処理水の海洋放出反対の声は、すでに岩手県市長会及び東北市長会でも特別決議を採択して政府に求めています。ついでに、貴県議会において下記の事項について採択してください。よう請願いたします。

記

東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出に頼らない安全な処理・保管方法を国の責任で確立するように、国及び関係機関に意見書を提出すること。
二〇二一年六月二十八日
請願二〇団体

「東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議」
平和環境岩手県センター
◇原発から早期撤退を求める岩手県学識者の会
◇岩手県社会福祉推進協議会
◇盛岡医療生活協同組合
◇岩手県消費者団体連絡協議会
◇岩手県自治体労働組合総連合
◇新日本婦人の会岩手県本部
◇岩

手県民主医療機関連合会
◇日本中国友好協会岩手県連合会
◇いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク
◇岩手県母親大会連絡会
◇岩手県商工団体連合会
◇岩手県学校生活協同組合
◇I女性会議
岩手県本部
◇脱原発・一昼デモ
◇矢巾九条の会
◇平和憲法・9条を守る都南の会
◇三陸の海を放射能から守る岩手の会
◇岩手県反核医師歯科医師の会

岩手三陸連携会議が緊急要望書

東電福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出について
(要旨)

三陸沿岸の漁業を取り巻く環境は東日本大震災による海洋環境の変化、海水温上昇などによる漁場の変化、及び担い手不足などにより非常に厳しい状況にあり、海洋放出を行った場合、水産業へ風評被害が生じ地域産業を支える水産業の持続発展への影響は甚大です。次のように要望します。

水めがね



このごろ「タブレット」に馴れてきて、Uチューブ動画で、原発関係の講演会などをいろいろ見ている。原子力市民委員会の第一五回「原発耕論」が面白い。「原発事故汚染水の海洋放出は無責任の極み」というテーマである。◆「トリチウムは水で薄めて流して安全」という主張は、トリチウムが海藻や魚の食物連鎖により「有機結合トリチウム」となって人間の体内部に取り込まれて行くことを無視している。たとえば有機トリチウムを蓄積した魚を食べ、肝臓の細胞にトリチウムが固着すれば、その周辺をベータ線が照射し細胞内のDNAを複雑に傷つける。そんな顕微鏡写真での解説が見られる。◆カナダのピッカーリング原発周辺では死産、先天性異常、新生児死亡、ダウン症が、イギリスセラフィールド再処理工場周辺では若者に白血病やガンの増加が見られるという。◆この動画で注目されるのは「福島事故原発のデブリの崩壊熱が事故一年後に比べ約一〇分の一くらいに下がってきた」という情報である。もしそうならば、デブリに直接水を掛ける現在のやり方はやめ、「空冷」の方法も可能になるという。汚染水がタンクいっぱいになったから、海に捨ててしまえという乱暴な方針は「汚染水を作らない」という視点からも、見直すべきである。(尚)

岩手県内市町村議会 各地で請願続く

久慈市議会 本会議 採択六月二五日

1 処理水の放出によらない処理・管理方法
2、国民への丁寧な説明
と風評被害対策・財政支援
永続的漁業資源保護、管理、
漁業水産加工への経営安定
化施策
(沿岸市町村長の会
要請連名首長一三人)

請願書(要旨)
東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出決定を撤回し、安全な処理・保管方法を確立するように、国に対して意見書の提出をお願い致します。
令和三年六月七日
二団体共同請願
豊かな三陸の海を守る会
(共同代表 横田有平)
岩手県消費者団体連絡協議会(会長 川村元)
□現在までに請願・意見書採択の市町村議会

盛岡金曜デモ

250回目!

来月11日(7月16日)で盛岡金曜デモは250回目になりました。次回は8月6日18時30分県庁前小公園出発。



○田野畑村議会
○岩泉町議会
○宮古市議会
○陸前高田市議会
○奥州市議会
○一関市議会
○久慈市議会

原子力市民委員会 Uチューブ動画 デモクラシータイムス 第15回 「原発耕論」

映像(原発耕論) | 原子力市民委員会
ccne.japan.com